

# ひらいた門

見よ。わたしは、だれも閉じることのできな  
い門を、あなたの前に開いておいた。なぜなら、  
あなたには少しばかりの力があって、わたしの  
ことばを守り、わたしの名を否まなかったから  
である。 黙示録 3 : 8

VOL.02-03 NO.012 2010年03月

チャーチ・オブ・ゴッド

川崎南部キリスト教会

〒210-0025 川崎区下並木66

TEL&FAX 044-233-3648

Eメール:[nanbu-kyokai@nifty.com](mailto:nanbu-kyokai@nifty.com)

URL:<http://homepage2.nifty.com/nanbukyokai/>

## 「三味一体」

橋本幸夫

「すべての民に好意を持たれた。」

(使徒の働き 2 : 47)

前味、中味、後味という三つがあるそう  
です。いえ別に食べ物の味だけのことは  
ありません。店そのものに関係する言葉の  
ようです。

感じの良い店だなあと入る。これ  
は前味！

店員の応待、食事の味による満足は中味  
といえましょう！

いい店だ、誰か今度連れてこよう。これ  
は後味です！

この三つの味、三味一体がそろえば繁  
栄するというわけです。味のある店として  
人気が出るということでしょう。

この味はサービス過剰を意味しません。  
何も買わなくとも〈ありがとうございます〉と笑顔をもって頭を下げ、声をかける  
ようなさりげなさ、丁寧に迎え入れ、温か  
く送り出す姿勢が良い味を出すのでしょ  
う。特にやさしい明るい笑顔には、さびし  
い気分を安らかにしてくれる効果がある  
ようです。

確かに店員さんがズーッとつきまとい  
あれこれ声を出すと早く店を出て行きた  
くなくなってしまいますよネ。気の弱い私な  
どはその一人です。

相手に対する関心は持ち続ける。そして  
リクエストがあればどんな状況にも的確  
に対応する姿勢を保つ、しかしさりげなく  
接していく。そうした配慮は教会にとつ  
ても無関係ではないように思えます。

「すべての民に好意を持たれた。主も毎  
日救われる人々を仲間に加えてくださ  
った。」(使徒の働き 2 : 47)。これぞ生  
きた教会のヒナ型です。「すべての民から  
好意を持たれた」ということばは見逃せ  
ません。おもねるのでもなく、こびるの  
でもなく、味の濃さ、良さ、すばらし  
さをみことばを通して守りつつも、好  
意をもたれるような工夫をせねばなら  
ないのではないのでしょうか。そうでな  
くても〈敷居が高い〉と敬遠されがちな  
のが教会なのですから。

何とか三味一体がそろえば教会にしたい  
ものです。〈気やすく声をかけ、気を抜  
かず配慮する。〉これでいきましょう。

そのために皆さん、教会員一同心を一つ  
にして祈る必要がありますネ！